

愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 2023年（令和5年）5月26日（金）午前10時から午前10時30分まで
- 2 場所 愛知県三の丸庁舎 地下1階 B101会議室
- 3 議事
 - (1) 会長の選任について
 - (2) 中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書について
- 4 出席者
 - (1) 委員
中山会長、大石部会長、渡邊委員
【オンライン出席】
阿部委員、市野委員、長田委員、小野委員、神谷委員、北村委員、須山委員、
塚田委員、内藤委員、中野委員、廣岡委員、宮崎委員、横田委員、義家委員
(以上17名)
 - (2) 事務局
環境局：
川村環境局長、近藤技監
環境局環境政策部環境活動推進課：
足立課長、鈴木担当課長、高橋課長補佐、猿渡主査、渥美主査、大島主任
(以上8名)
 - (3) 事業者等
8名
- 5 傍聴人
なし
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 議事
 - ア 会長の選任について
 - ・ 会長について、中山委員が互選により選出された。
 - ・ 会長代理について、中山会長が大石委員を指名した。
 - ・ 会議録の署名について、中山会長が阿部委員と市野委員を指名した。
 - イ 中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書について
資料3について、大石部会長から説明があった。

<質疑応答>

【渡邊委員】 今回の滑走路増設事業に直接関係することではないが、私が訪れたことのあるアフリカのマダガスカル空港では、ヨーロッパからの植物が空港の周辺に生育していた。今後、飛行機の往来が増えてきた場合には、同様のことが起こる可能性がある。

こうしたことから、生物多様性の観点から、特に外来種の移入について、可能であれば調査を行うことを検討してもらいたいと思う。

【事務局】 渡邊委員からいただいた指摘は、重要なことと考えている。

一般的には、事業に伴う外来種の持ち込みは、極力防いでいただきたいと考えており、今回の滑走路増設事業については、施工業者などの関係者による外来種の持ち込みを防止するよう、できる限りの取組をお願いしたいと思う。

その上で、環境アセスメントの調査とは別に考えることだと思うが、空港周辺での外来種の植物の定着状況を把握することについて、事業者から今の段階での考えを説明していただきたいと思う。

【事業者】 中部国際空港株式会社としては、これから外来種の調査を行うかどうかも含めて、どのように対応していくかを検討したいと考えている。

【中山会長】 それでは、渡邊委員からの貴重な意見は別途検討していただくこととし、答申としては資料3の部会報告について修正の意見はないため、このまま審査会の答申としてよろしいか。

(委員から意見等はなし)

【中山会長】 異議なしとされたため、部会報告の内容をこのまま審査会から知事への答申とする。

- ・ 資料3の「中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書について(報告)」を、そのまま審査会答申とすることで了承され、別紙のとおり答申した。

(3) 閉会

令和5年5月26日

愛知県知事
大村秀章殿

愛知県環境影響評価審査会
会長 中山恵子



中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書について（答申）

令和5年3月16日付け4環活第529号の諮問については、別添のとおり答申します。

中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書についての答申

はじめに

中部国際空港滑走路増設事業に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に環境影響評価を実施し、その結果を踏まえ環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

1 全般的事項

- (1) 事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。
- (2) 調査地点及び予測地点について、その設定理由をわかりやすく示すこと。
- (3) 環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

2 大気質

本事業に伴い、航空機の飛行及び地上走行の経路や航空機地上支援車両（GSE 車両）の稼働状況等が変化する可能性があることから、航空機の運航に伴う大気質の影響について、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を検討し、環境影響を回避、低減すること。

3 騒音

本事業に伴い、航空機の飛行及び地上走行の経路やエンジン試運転の実施状況等が変化する可能性があることから、航空機の運航に伴う騒音の影響について、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を検討し、環境影響を回避、低減すること。

4 動物

- (1) 本事業に伴い、航空機の飛行経路が変化する可能性があることから、鳥類の飛行軌跡及び飛翔高度を調査した上で、予測に用いる飛行経路と重ね合わせることにより、鳥類への影響について適切に予測及び評価を行い、その結果を踏まえ適切な環境保全措置を検討し、環境影響を回避、低減すること。
- (2) 航空機の運航に係る鳥類への影響の調査、予測及び評価に当たっては、中部国際空港建設事業の環境影響評価及び環境監視の結果や、これまでの空港管理で蓄積された鳥類の航空機への衝突事故の事例を活用すること。

5 その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、わかりやすい図書となるよう努めること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
令和 5年 3月16日	審 査 会	知事からの諮問 方法書の内容の検討 住民意見の概要等の検討 部会の設置及び付託
令和 5年 5月12日	部 会	方法書の内容の検討 関係市長意見の検討 部会報告（案）の検討
令和 5年 5月26日	審 査 会	方法書の内容の検討 部会報告 答申の検討 知事への答申

愛知県環境影響評価審査会委員

阿部 順子	椋山女学園大学生生活科学部准教授
市野 良一	名古屋大学大学院工学研究科教授
伊藤 由起	名古屋市立大学大学院医学研究科准教授
○大石 弥幸	大同大学名誉教授
岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
長田 和雄	名古屋大学大学院環境学研究科教授
小野 悠	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授
片山 直美	名古屋女子大学健康科学部教授
神谷 浩二	岐阜大学工学部教授
北村 亘	東京都市大学環境学部准教授
佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
須山 知香	岐阜大学教育学部准教授
塚田 森生	三重大学大学院生物資源学研究科教授
内藤 久雄	金城学院大学生活環境学部教授
中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
◎中山 恵子	中京大学経済学部教授
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
廣岡 佳弥子	岐阜大学流域圏科学研究センター准教授
宮崎 多恵子	三重大学大学院生物資源学研究科准教授
横田 久里子	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授
義家 亮	名古屋大学大学院工学研究科准教授
吉永 美香	名城大学理工学部教授
渡邊 幹男	愛知教育大学自然科学系教授

◎会長 ○会長代理

(敬称略、五十音順)